

2019年9月4日
クラスターダイナミクス株式会社

Swarm AI 開発のクラスターダイナミクス、 防衛装備庁の安全保障技術研究推進制度の新規研究課題に採択！

クラスターダイナミクス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：高岡 秀年）は、防衛装備庁の安全保障技術研究推進制度の令和元年度の新規研究課題に、「機械学習と物理学ベース群知能による状況適応型群制御の研究」が採択されたことをお知らせ致します。

今回の採択により、次世代の陸空マルチビークル運用、人・ロボット協働のための iSwarming(R)のリリースのための商品ラインナップが、より充実することになります。

これまでの、自律型単体ロボットの制御開発が中心であったロボット革命草創期の時代から、複数ロボットの制御の成熟の時代へ。クラスターダイナミクス株式会社は、安心・安全な人間とロボットの共生社会を目指し、社会貢献できる商品開発に努めてまいります。

防衛装備庁・安全保障技術研究推進制度の詳細は以下のホームページをご参照下さい。

<https://www.mod.go.jp/atla/funding/kadai.html>

■ iSwarming(R)とは

iSwarming(R)(アイスワーミング)は、クラスターダイナミクス独自のデジタルツイン物理学ベースの群知能(Swarm Intelligence)技術です。仮想的物理モデル(Virtual Physical Model)に基づきビークルやロボットの集団において個々が協調的な意思決定をサイバー空間で行うと同時に、フィジカル空間での衝突回避・協調運動など集団全体の動きを最適化するサイバー・フィジカル・カップリング技術です。

<ニュースリリースに関するお問い合わせ>

クラスターダイナミクス株式会社 経営企画室
info@cluster-dynamics.com